



ホーム | アーカイブ | サイトマップ | アルバム | 検索 | プロフィール

ミネアポリス・リアルライフ

ホーム > アーカイブ > 2013年11月

カレンダー

< 2014年01月 >

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

カテゴリー

- ショッピング(47)
- シアター(28)
- ライフスタイル(63)
- カルチャー(28) NEW
- アート(36)
- 観光(32)
- ミュージアム(19)
- フード(75)
- イベント(46)
- ミュージック(33) NEW
- アクティビティ(26)
- スポーツ(19)
- メジャーリーグ(14)
- ホテル&リゾート(12) NEW
- ネイチャー(10)

アーカイブ

- 2014年01月(10)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(6)
- 2013年10月(6)
- 2013年09月(4)
- 2013年04月(10)
- 2013年03月(8)
- 2013年02月(11)

2013年11月

メインストリートは歴史あるヘネピン・アベニュー。



今もシアターの集まる通りであり、ダウンタウンで一番交通量の多いメインストリートであるヘネピン・アベニュー。その昔、まだ街がなく、ネイティブ・アメリカンの人々だけが住むところだった土地で、白人として初めてミシシッピ河の滝「セントアンソニー・フォール」を発見し命名したヘネピン神父。その名がついたミネアポリス・ダウンタウンのメインストリートは、華やかさと都会の影を同時に持つところです。

フィッツジェラルドが遊興三昧に明け暮れ、ジャズが街に流れ、禁酒法下で様々な享楽が繰り広げられていたローリング・トゥエンティ。ヘネピンアベニューには当時の姿を再現したヒストリック・シアターが集まり、またレストランやバーも並んでいます。

以前はショッピング・センターとオフィスの混合ビルであったシティセンターは今すっかりオフィスだけの空間となり、一頃の賑やかさはありません。

昔は「ビクトリア・シークレット」、「ボディショップ」、「ウィルソン・レザー」などの有名なブランドの店や大型ブックストアの他、ちょっとした買物ができる場所だったシティセンター。

90年代に建設されたブロックEというビルと繋がり、ビルには映画館、カジュアル・レストランとともにハードロック・カフェもありました。魅力のないビルと言われたブロックEが新しく改装されることが昨日発表されました。さて、どうなることやら。

コミュニティの人たちは、ヘネピン・アベニューを魅力あるアート&カルチャーを提供する通りに変えようとしています。新たに加わった「コウル・センター」というダンス&パフォーマンス・シアターもそれに一役買っています。

このシアター・ブロックの空いたショーウィンドーを利用して、この秋から「Made Here」というキャンペーンが行われています。地元アーティストのアートやクラフト

を40近いスペースを使って展示するこの企画、通りそのものがちょっとしたギャラリーのようです。

アメリカ情報サイトLink-USA



魅力的なアメリカの地、素晴らしい旅へのご案内

検索

詳細 一覧

検索

サイトマップ

お知らせ通知登録

メールアドレスを入力して登録ボタンを押してください。このブログの最新記事をメールでお届けします。

お知らせ通知登録:

登録

[解除はこちら]

最近のコメント

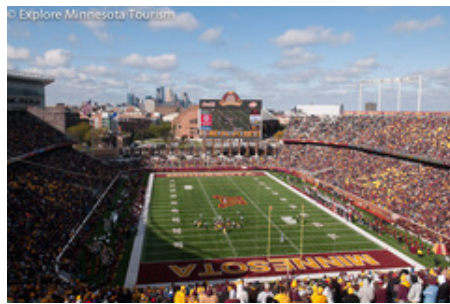
- 今朝86回アカデミー賞の... NEW (husky15)
- 2014年1月17日 00:38
- コメントいただいたのに返... (Husky15)
- 2014年1月10日 03:15
- ぜひ、またお越し下さいね... (Husky15)

2013年01月(11)
 2012年12月(11)
 2012年11月(5)
 2012年10月(14)
 2012年09月(13)
 2012年08月(15)
 2012年06月(16)
 2012年04月(1)
 2012年03月(15)
 2012年02月(4)
 2012年01月(8)
 2011年12月(9)
 2011年11月(11)
 2011年10月(5)
 2011年09月(9)
 2011年08月(2)
 2011年07月(11)
 2011年06月(13)
 2011年05月(6)
 2011年04月(2)
 2011年03月(7)
 2011年02月(12)
 2011年01月(9)
 2010年12月(10)
 2010年11月(10)
 2010年10月(5)
 2010年09月(9)
 2010年08月(13)
 2010年07月(6)
 2010年06月(14)
 2010年05月(1)
 2010年04月(2)
 2010年03月(6)
 2010年02月(5)
 2010年01月(1)
 2009年12月(8)
 2009年11月(10)
 2009年10月(10)
 2009年09月(3)
 2009年08月(3)
 2009年07月(2)
 2009年06月(2)
 2009年04月(2)
 2009年03月(1)
 2009年02月(6)
 2009年01月(8)
 2008年12月(5)
 2008年10月(1)
 2008年08月(2)
 2008年05月(3)
 2008年04月(4)
 2008年03月(8)

こうしたアイデアが少しヘネピン・アベニューをアート&カルチャーの集まる場所へと変化させることが出来ればいいなと思うばかりです。

投稿者 Husky15 27日 06:38 | コメント(3) | アート

ミネソタ大学OB憤慨する！



大学のフットボール・ゲームが盛り上がるシーズンとなりました。ミネソタ大学のイエローとバーガンディがスクールカラーで、マスコットは掘り鼠（ゴフアー）というリスに似た動物です。

ホームゲームは2年程前に完成した最新設備の屋外スタジアムで

す。大学のスポーツ設備は本当にお金がかかっています。ここで、U2のコンサートもあり、大盛況でした。

ミネアポリスとセントポール、そして州外の分校も含め、ミネソタ大学が全米でも最も生徒数の多いマンモス校の一つです。1800年代から運営されてきた歴史のある

大学にはその当時からある古い建物も残っており、それに添うようなデザインの新しいビルと、そして斬新なモダンビルや、こうしたスタジアムなどが一体となった、広大な学校なのです。

先頃、有名な旅行雑誌が「全米でも最も醜い大学キャンパス」というランキングを発表し、ミネソタ大学がその中に含まれました。写真は大学病院の建物の一つを写したもので、キャンパスでもないのですが、とにかくこのランキングに地元のOBたちはカンカン。早速ブログやウェブサイトの投書などで、反撃に出ました。スポーツの応援に良く見られる愛校心が、こういう場合にも噴出した訳ですね。

大学のスポーツ試合、滞在者のか方々にもお勧めします。学生やOB、地元の人々の応援ぶりが楽しいですよ。

投稿者 Husky15 23日 07:50 | コメント(0) | カルチャー

ミネトンカ・モカシンの新しい試み。



以前ミネアポリスに本社のある「ミネトンカ・モカシン」の人が、彼らの靴が今や日本にあるフラッグショップで買えると言っていました。「日本語のウェブサイトもあるんですよ」とのことで、遅まきながらチェックしてみました。昔からミラーさんという一家が代々経営するミネトンカ・モカシンは、ネイティブ・アメリカンの靴「モカシン」のデザインから始まったブランドですが、今やハリウッドのスターが愛用する、またファッション雑誌にも登場する、お洒落な人気ブランドとして知られるようになりました。

デザインも伝統的なモカシンのようなものだけでなく、フリンジの可愛いブーツなどもお馴染みとなり、今秋限定のブーツはいかにも今風ファッションよりのものです。（欲しい！）

2014年1月10日 03:14
 楽しそうです！行って見...
 (中村紀子)

2014年1月9日 18:57

なんと！徒歩圏に住んで居... (miyakou)

2013年12月7日 04:24

ホテルはtowneplace down... (もも)

2013年12月3日 11:33

ももさん、こんにちは。お... (Husky15)

2013年12月3日 06:34

こんにちは！実は今週末に... (もも)

2013年12月2日 14:17

今夏は数回アイスクリーム... (Husky15)

2013年10月4日 22:58

ココはイイですね。IZZY... (miyakou)

2013年10月4日 03:27

2008年02月(3)
 2008年01月(6)
 2007年12月(7)
 2007年11月(3)
 2007年10月(10)
 2007年09月(7)
 2007年08月(9)
 2007年07月(7)
 2007年06月(5)
 2007年05月(1)
 2007年04月(2)
 2007年03月(1)

最近の記事

ミネソタ管弦楽団のコンサートがとうとう始まりま
 す！ 1月18日 **NEW**

「世界のベストホテル」の常連、セントポール・ホテル。 1月16日 **NEW**

ミネアポリスのソマリア移民。 1月15日 **NEW**

ミネアポリスの新進映画スタア。 1月14日 **NEW**

メトロドームよ、さようなら。 1月11日

ミネソタの星、高田選手を応援しよう！ 1月10日

モール・オブ・アメリカで冬を忘れる。 1月9日

今年のミネソタの冬。 1月8日

お洒落なウェアハウスディストリクトのレストランへ。 1月4日

2013年と光りのパレードにさようなら。 1月3日

プロフィール



Husky15

性別 女性

ミシシッピ河畔の中都市ミネアポリス在住20年目

そんなミネトンカ・モカシンも今までは女性と子供向けを全面に押し出してマーケティングを行ってきましたが、今年からメンズにも熱心なマーケティングを展開しています。ドライビング・シューズと呼ばれるスリッポンのローファー的なモカシンのデザインを展開し、20代30代のカジュアルなお洒落派を魅了するラインを売り出しています。ミネアポリスで男性ファッションのブログを発信している「ミルシティ・メン」とコラボレーションして、ソーシャルメディアでの販促を行い始めました。地元のちょっとイカした男性が履くそれぞれのモカシンをフィーチャーし、ブログで紹介。

こんなサイトを見ると、昔ミネソタに初めて来た頃、小さな町のお土産物屋さん並んでいたミネトンカ・モカシンから、随分変化したな～と感心する次第です。

<http://millcitymen.com>

<http://minnetonkamoccasins.co.jp>

投稿者 Husky15 22日 08:47 | コメント(0) | ショッピング

デザイン学校のアートセールへ行こう！



今朝友人Jからテキストメッセージがあり、「MCADが今年もアートセールのイベントをやるから行かない？」というお誘い。MCAD(エムキャッド)とは、ミネアポリス・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインという美術全般とデザインや写真、映画などクリエイティブな部門を専門に学

ぶ大学です。ミネアポリスのダウンタウンから車で10分程の学校は、多くのアーティスト、広告やマスコミ業界への人材を輩出しています。

日本からの学生もいて、大阪芸術大学などと提携をしているようです。

このMCADでは毎年基金集めのためのアートセールが行われます。これは現役の生徒やOBのアーティストたちの作品を展示即売する3日間のイベントで、初日の木曜日はいつもガラ形式で入場券もお高いのですが、金曜日と土曜日は20ドルくらいです。夕方6時から9時頃まで、校内の壁という壁、部屋という部屋が様々なアート作品で埋まり、値段も様々。人々はその中から気に入ったものを購入します。カクテルやアペタイザーもサービスされ、人のざわめきの中、お気に入りの絵をものにするため、校内をうろろう。もしかしたら30ドル程で購入した若い生徒さんの作品が、将来大物アーティストになって、ぐんと価値が上がるかも～なんていうような欲は出さずに、瑞々しい若い才能に感心したり、斬新で笑えるようなエネルギーのある作品を面白がったり、所狭しと並ぶアートを堪能することができるイベントです。

<http://mcad.edu/events-fellowships/art-sale>

投稿者 Husky15 21日 08:30 | コメント(2) | アート

恒例のコンテストにまたもミネアポリスの場所が！

す。春から秋の季節の美しさが好きで、冬の寒さを許すことにしています。アメリカというとマスコミやメディアが紹介するものだけのイメージが行き渡っていて、残念です。もっと身近でハートウォーミングなアメリカを知って欲しいというも思っています。

[エントリーの作成・編集]

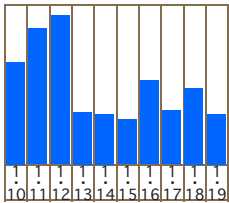
リンク

ミネアポリス市・会議観光局
Link-USA アメリカ情報サイト

QRコード



カウンター



総アクセス数：26,268件
(30日前～昨日までの総数)

RSS 2.0
RSS 1.0
ATOM 0.3
W3C XHTML 1.0
W3C CSS



毎年さる企業団体によって開催される「アメリカのベスト・トイレ」コンテスト。目的はこうしたイベントで、清潔な生活を促進するということだそうですが、昨年はモダンアート美術館のウォーカーアート・センターのトイレがノミネートされました。今年は、

またもミネアポリスから、ミネソタ大学のキャンパスに近いライブミュージックの会場として人気のある「ヴァーシティ・シアター」のトイレがトイレの「殿堂」に選出されたのです。ヴァーシティ・シアターは1920年代シアターの街として栄えた頃から、最も長らくボードビルや映画のオープニングなど様々なエンターテイメントを提供してきた歴史のあるシアターでした。それが改装され、今は様々なコンサートが行われるライブミュージック・シアターとして活かされています。

内部のインテリアもユニークで、コンサートによっていろいろとデコレーションやスタイルが変化します。オーナーはこのシアターの他、ボヘミアンなカフェの「キティ・キャット・クラブ」とレストラン&バー「ローリング・パスタバー」を経営していて、それぞれにキッチンでアーティストックなインテリアが特徴になっています。トイレもしかり、トイレには使いそうのないドアや壁、装飾で、初めて使用する人を驚かせます。

まるでトイレ全体がコンテンポラリー・アートのインスタレーションのようです。

「殿堂」という名誉ある賞を受けましたが、とにかくトイレも一見の価値があります。

投稿者 Husky15 20日 06:04 | コメント(0) | シアター

戦い終わって～。



お久しぶりです。2週間の出張から戻ってみると、選挙が終わり、2014年から新しい任に着く市長と市議会議員の面々が決定していました。3期市長と務め、日本にも訪問経験のある現R・T・ライバック市長は、今年限り。あのキラキラ光る眼と、説得力と暖かみのある演説も見られなくなる

と思うと、ちょっと淋しい気がします。現市長は女性にも人気がありました、確かに。

次期市長は現市議のベッツィ・ホッジス氏。初の「白人女性」市長です。黒人女性市長は以前ありましたが、白人の女性は150年以上の市制の中で初めて。そして13人の市議会議員のうち7名が新たに当選しました。

「初」ずくしの新市議会メンバーです。初の東南アジアのモン族の市議、初のメキシコ系アメリカ人の女性市議、初のソマリア人の市議と、次世代の移民グループを代表する顔ぶれとなりました。

アメリカでもリベラルの街の一つとして知られるミネアポリス、近年増加する移民の中でも、アメリカの移民問題の中心となる人種の中から市議会議員が選出されたことは、ちょっとした革命的な出来事かも知れません。

しかし、彼らが代表する地区だけでなく、市全体、ひいてはミネソタ最大の都市として、市議会も広範な課題に対峙し、都市の未来を担っていく必要

があります。足下だけでなく、周囲とその先をも見つめることのできる市議であって欲しいと願うばかりです。

こんなバックグラウンドを考えながら、また市役所を訪れてみるのも良いかも知れません。市役所の受付にはビルの歴史を説明するガイドパンフレット（英語）があり、それをもとに自由に中を見学することができます。歴史あるビルは外観はまるで小さなお城のようですが、中では、こうして様々な現実に対処する活動が行われている訳ですね。因みにミネアポリス市警察も同じビルの中にあります。

<http://www.municipalbuildingcommission.org>

<http://www.ci.minneapolis.mn.us>

投稿者 Husky15 19日 08:08 | コメント(0) | ライフスタイル

Copyright (C) 2007-2008 Link-USA.jp All Rights Reserved.